2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	株式会社雨風太陽	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	5616	URL	https://ame-kaze-taiyo.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	高橋　博之
問合せ先責任者	（役職名） コーポレート本部長	（氏名）	榆金　和哉　　TEL 03-6278-7890
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：無　（2026年11月13日に決算説明動画を当社IRサイトに掲載予定）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	648	△4.2	△70	―	△72	―	△96	―
2025年12月期第３四半期	677	△0.2	△77	―	△54	―	△55	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△39.84	―
2025年12月期第３四半期	△22.95	―

（注）　2025年12月期第３四半期及び2026年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	704	249	35.4
2025年12月期	1,006	345	34.3

（参考）自己資本　　2026年12月期第３四半期　　249百万円　　2025年12月期　　345百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年12月期の業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	914	△11.0	△44	―	△41	―	△74	―	△30.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　有

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	2,420,550株	2025年12月期	2,420,550株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	50株	2025年12月期	50株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	2,420,500株	2025年12月期３Ｑ	2,418,870株

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2026年11月13日(金)にTDnetにて開示するとともに当社ウェブサイトに掲載いたします。

決算説明動画は2026年11月13日に下記当社ウェブサイトへ掲載する予定です。

https://ame-kaze-taiyo.jp/ir/

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第３四半期累計期間 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やAI関連需要の高まりなどを背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢の再燃に伴う原油高や野菜価格の上昇などによる物価上昇圧力に加え、金融政策の正常化に伴う金利の上昇や中国からの訪日客の減少などの影響により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下において、当社は、各事業の成長及び運営の効率化を通じて収益性を高めることで、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

当第３四半期累計期間の業績は、売上高648,985千円（前年同期比4.2%減）、営業損失70,329千円（前年同期は営業損失77,661千円）、経常損失72,116千円（前年同期は経常損失54,860千円）、四半期純損失96,442千円（前年同期は四半期純損失55,507千円）となりました。

セグメント別の概況につきましては、以下の通りであります。

（個人向けサービス）

個人向けサービスの当第３四半期累計期間の売上高は447,277千円（前年同期比17.0％減）、営業利益は78,140千円（前年同期は営業利益106,405千円）となりました。食品事業については、産直アプリ「ポケットマルシェ」を利用する生産者は約9,300名、利用するユーザー数は93万人を突破しました。9月にはサービス開始から10周年を迎えました。また、7月の令和8年熊本地震や8月の千葉豪雨などの自然災害を受け、販売手数料を無料とした「応援商品」の販売を通じて、被災した生産者への支援を実施しました。また、旅行事業については、「ポケマルおやこ地方留学」の2026年夏季プログラムを、安全点検と改善措置を経て規模を縮小したうえで全国6地域で催行し、79家族202名が参加しました。「STAY JAPAN」の宿泊施設を大手OTAプラットフォーム上でまとめて販売するモデルについては、Booking.comとの連携施設を順次拡大しております。

（法人向けサービス）

法人向けサービスの当第３四半期累計期間の売上高は201,707千円（前年同期比45.2％増）、営業利益は8,799千円（前年同期は営業損失15,074千円）となりました。自治体事業については、総務省による「ふるさと住民登録制度」の運用開始に向けて、鹿児島県南さつま市における制度を活用した人口戦略策定・推進事業や、京都府亀岡市における制度促進業務を受託するなど、制度関連の案件の実施を進めました。また、9月には「ふるさと住民1,000万人会議」を立ち上げ、10月に島根県海士町で第1回会議を開催することを発表しました。

また、当社が主要な経営指標と置いているインパクト指標については、サービス開始より、①顔の見える流通総額は累計で約144億35万円、②コミュニケーション数は累計で1,378万2,513件、③都市と地方を往来して過ごした日数は累計で25,512日となっております。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期会計期間末における流動資産は552,716千円となり、前事業年度末に比べ311,901千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が144,450千円、売掛金が92,128千円及び未収入金が79,712千円減少したことによるものであります。固定資産は152,005千円となり、前事業年度末に比べ9,651千円増加いたしました。これは主に建設仮勘定が23,760千円及び投資有価証券が23,400千円減少したものの、ソフトウエア仮勘定が26,060千円及び建物（純額）が17,251千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、704,721千円となり、前事業年度末に比べ302,249千円減少いたしました。

（負債）

当第３四半期会計期間末における流動負債は255,361千円となり、前事業年度末に比べ200,927千円減少いたしました。これは主に預り金が75,685千円、短期借入金が50,000千円及び未払金が45,870千円減少したことによるもの

であります。固定負債は200,000千円となり、前事業年度末に比べ4,879千円減少いたしました。これは資産除去債務が4,879千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は455,361千円となり、前事業年度末に比べ205,807千円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期会計期間末における純資産合計は249,360千円となり、前事業年度末に比べ96,442千円減少いたしました。これは四半期純損失96,442千円の計上により繰越利益剰余金が減少したことによるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期通期業績予想につきましては、2026年２月13日に公表いたしました通期の業績予想を変更しております。

詳細については、本日（2026年11月13日）に公表いたしました「通期業績予想の修正及び特別損失（投資有価証券評価損）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第３四半期会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	458,160	313,709
売掛金	190,699	98,571
商品	254	6
仕掛品	3,655	3,274
貯蔵品	75	61
前払費用	16,815	21,909
未収入金	193,445	113,732
未収消費税等	―	641
その他	1,536	819
貸倒引当金	△25	△11
流動資産合計	864,617	552,716
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	0	17,251
建物附属設備（純額）	886	11,359
車両運搬具（純額）	3,360	2,779
工具、器具及び備品（純額）	450	6,073
土地	11,713	11,713
建設仮勘定	23,760	―
有形固定資産合計	40,171	49,178
無形固定資産		
商標権	3,318	2,923
ソフトウエア	25,149	29,723
ソフトウエア仮勘定	6,991	33,052
無形固定資産合計	35,459	65,699
投資その他の資産		
投資有価証券	38,400	15,000
出資金	10	10
敷金	5,004	―
差入保証金	15,001	14,625
長期前払費用	2,400	1,920
繰延税金資産	5,559	5,559
その他	348	12
投資その他の資産合計	66,723	37,127
固定資産合計	142,353	152,005
資産合計	1,006,971	704,721

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第３四半期会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	34,681	30,565
短期借入金	50,000	―
未払金	105,089	59,218
未払費用	33,902	26,034
未払法人税等	1,563	662
未払消費税等	13,950	―
契約負債	2,333	75
預り金	212,135	136,450
株主優待引当金	2,400	1,800
その他	233	555
流動負債合計	456,289	255,361
固定負債		
長期借入金	200,000	200,000
資産除去債務	4,879	―
固定負債合計	204,879	200,000
負債合計	661,168	455,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	347,992	347,992
資本剰余金		
資本準備金	2,000	2,000
資本剰余金合計	2,000	2,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△4,146	△100,589
利益剰余金合計	△4,146	△100,589
自己株式	△42	△42
株主資本合計	345,802	249,360
純資産合計	345,802	249,360
負債純資産合計	1,006,971	704,721

（２）四半期損益計算書

第３四半期累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	677,666	648,985
売上原価	245,215	234,883
売上総利益	432,450	414,101
販売費及び一般管理費	510,112	484,430
営業損失（△）	△77,661	△70,329
営業外収益		
有価証券利息	2,431	46
受取利息	892	1,152
ポイント還元収入	579	146
補助金収入	21,188	―
雑収入	1,869	428
営業外収益合計	26,962	1,774
営業外費用		
支払利息	2,537	2,288
チャージバック損失	480	13
雑損失	1,144	1,259
営業外費用合計	4,162	3,561
経常損失（△）	△54,860	△72,116
特別損失		
固定資産除却損	―	277
投資有価証券評価損	―	23,400
特別損失合計	―	23,677
税引前四半期純損失（△）	△54,860	△95,794
法人税等	646	648
四半期純損失（△）	△55,507	△96,442

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第３四半期累計期間(自 2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期損益計算書計上額
	個人向けサービス	法人向けサービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	538,701	138,964	677,666	―	677,666
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	538,701	138,964	677,666	―	677,666
セグメント利益又は損失(△)（注２）	106,405	△15,074	91,330	△168,992	△77,661

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

当第３四半期累計期間(自 2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期損益計算書計上額
	個人向けサービス	法人向けサービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	447,277	201,707	648,985	―	648,985
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	447,277	201,707	648,985	―	648,985
セグメント利益又は損失(△)（注２）	78,140	8,799	86,940	△157,269	△70,329

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第３四半期累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	1,937千円	9,138千円
のれん償却額	2,025千円	―